

TEAM GUREKO 関東 2008 年 2 月例会

釣行日:2008 年 2 月 16 日(土曜日)

釣行場所:伊豆半島・須崎

利用渡船:三信屋

参加者名:[会員]金田、八尾、生江、清水、青木、広垣(幹事)

海況:長潮、西の強風、晴れ時々曇り、

2008 年の初例会を須崎にて開催しました。

この時期の伊豆半島は、西風の強風となることが多く、開催場所を直前まで決められませんでした。前々日の予報で、やはり西風の予報が出たので東伊豆の須崎に決定。

例会としては初場所でしたが、伊豆在住の会員がガイド役になってくれて、予約・乗船はスムーズに行うことが出来ました。

細間島:(広垣レポート)

渡船の三信丸は我々の他 3 名の釣り人を乗せて、午前 6 時に須崎港を出港。

西に向かい、全員で西風をかわせる爪木島方面に向かうと思いきや、途中で Uターンして細間島に瀬付けし、金田会員、生江会員と私が降り立った。

細間島は海拔 3m 程の "100 畳の大広間"、バスケットボールのコートがとれそうな平べったい島。

本命ポイントは沖向きとのことであったが、この日、沖向きは波と風でとても入れるような状況ではなく、3 人そろって爪木崎に向かって風を背にして釣り座を構えました。

朝の内はそれほど風もなく、サラシも有ってまずまずのコンディションと思われたが、いざ竿を出してみると根掛かり連発。

明るくなってから水中を観察してみると、全面にカジメ林。カジメ林の上、もしくは間に仕掛けを流さないとうすぐ根掛かりしてしまう。

さらに、付け餌はすぐに取られるものの魚は見えないという、かなり厳しい状況での釣りとなりました。

しばらくして、金田さん、生江さんが、餌取り掛け始め、餌取りはフグ、ウミタナゴ、マイクロメジナと判明。(これは、手強い!)

私は、日が昇ってから、カジメ林を避けて、風表のサラシ場に移動し、なんとか規定サイズの 25cm の口太を釣ったものの、その後は風が強まり釣りになりませんでした。

お昼前からは、全員で強風を背中に受けガマンの釣りを強いられました。この頃から新たな餌取りとしてカモメが参入。

撒き餌に群がり、中には付け餌をくわえて飛び立つやつもいて、またまたウキをロスト。

この時点で、私はギブアップしましたが、金田会員と生江会員は集中力を切らさず、黙々と竿を振っていました。脱帽でございます。



早朝の細間島でピトンを打つ生江会員



強風のため、安全な場所に移動した金田会員



潮目に沿った、餌鳥のフォーメーション

爪木島:(清水レポート)

青木会員と八尾会員と私とで、大場所である爪木島の西側へ渡礁しました。

風裏となる東向きにはすでに先客が竿を出しており、西風に向かったの釣りとなりました。

朝一に八尾会員が際の沈め釣りで当たりを捕らえ見事35cmのメジナをキープ、私も際の深場を狙うとゆらゆらと、ウキが入って行き聞き合わせをすとずっしりとなかなかの手ごたえが！時間をかけてやり取りするが上がってきたのは、なんとカンダイ。良い手ごたえだったのでがっかり。海の中の活性が上がったかなと期待するが、えさ取りの反応も無くなり時間だけが過ぎてゆく。潮が下げ一杯になったところで、八尾会員と私とで場所のローテーションを行い丁度そのときが地合のようで、二人で小型ながらもメジナがヒット！とりあえずキープサイズなので安心しました。しかし、その後はまったくの反応が無くなりえさ取りを含め魚を掛けることはできませんでした。



三信丸と清水会員 & 餌鳥



清水会員が釣り上げた40cmオーバーのカンダイ



八尾会員の口太 35cm

競技規定:25cm以上の最大魚(1尾)

例会結果

1位:八尾会員 35cm

2位:清水会員 32cm

3位:広垣 25cm